

差出人： メールニュース／b-active 株式会社
件名： 【セルフ・キャリアドック情報 –No.043–】

※本メールは、b-active にメールマガジン配信のご登録をいただいた方、講習会にご参加の方、および名刺交換をさせて頂いた人事の方や企業分野のキャリアコンサルタントの方にお送りしております。もしも、ご意向に沿わない場合など「配信停止」をご希望の方は、お手数ですが最下段の「★配信停止をご希望の方はこちら」からお願い致します。

メールニュース会員 各位

みなさんこんにちは！キャリアコンサルタントの植村格明（うえむらまさあき）です。「企業分野」でキャリアコンサルティング活動をされる方々のサポート機能として、少しでもみなさまのお役に立てればと思います。

【セルフ・キャリアドック情報】

今回は、9月8日（水）に開催しました ACCN テーブル 19「第5回セルフ・キャリアドック・フォーラム」での、花田光代先生の特別講演の内容をわたくしなりにお伝えいたします。

「セルフ・キャリアドックから、キャリアドックとセルフキャリアドックへ」という題で、今後の企業分野でのキャリア自律支援に関して、最新の考え方とそのノウハウを惜しみなくお話し頂きました。花田先生本当にありがとうございます。

当日のアジェンダは以下となりますが、まさにセルフ・キャリアドックの本質に迫る充実の内容でした。

- ・ セルフ・キャリアドックの花田の認識
- ・ 状況が変わった
- ・ 職業能力開発推進者
- ・ 法令・行政からみた CC の役割拡大
- ・ セルフ・キャリアドックの基本
- ・ セルフ・キャリアドックの構造（組織支援）
- ・ セルフ・キャリアドックの構造（個人支援）
- ・ キャリア自律型組織
- ・ キャリア自律における重要な活動・K S F・K P I
- ・ セルフ・キャリアドック報告書

今回の先生のお話でわたくしが特に印象に残った言葉は、「個人の元気の総和が、組織の活性化である」という言葉です。シンプルですが実は非常に奥が深いと感じました。

つまり、「個の支援」活動がキャリアコンサルタントの今までの役割でしたが、更には「それを組織開発に確実につなげる」という、より広い役割が今求められていることを明確に、そしてわかりやすく表現されていると

思います。

それは、花田先生がキャリアコンサルタントの支援レベルを「1次レベルから7次レベル」まで示されていますが、その視点からのキャリアコンサルタントの役割と、セルフ・キャリアドックのあるべき姿の理解が今回の講演で更に深まるお話でした。

実際にわたくしの場合もそうですが、今回先生が示された一例として、セルフ・キャリアドックでキャリアコンサルタント活動全体に占める「キャリア面談の割合」は、「以前は70～80%」だったのが「今は30%～40%」になっています。

なぜならば「個の元気」を支援するキャリア面談以外に、「組織の活性化」へ繋げるための全体プランニングやデータ集計、報告業務など前後の工程の活動量が増しており、企業もそれをキャリアコンサルタントに役割として求めています。

また2時間の熱いお話の後の質問では、セルフ・キャリアドックでの「全体守秘義務について？」や「成果目標の提案方法？」、そして「管理職による部下キャリア支援策？」など、皆さんが悩む問題にも率直かつクリアにお答え頂きました。

つきましては、次回のメルマガからは今回のお話の内容をわたくしなりに解釈して皆さんと共有できればと思いますので、ぜひお楽しみにしてください。

最後に、企業内キャリアコンサルタントとして活動の方は、ぜひ ACCN テーブル 19 でお待ちしております。
お問合せ：ACCN Table No19 大阪万博・共創チャレンジ事務局 team.accn.table19@gmail.com

———— キャリアコンサルタント国家資格【更新講習】受講をご検討のみなさまへ ————

【技能更新講習】セルフ・キャリアドック「面談実践」コース（6時間）は **11月7日（日）**

【技能更新講習】セルフ・キャリアドック「ワークショップ実践」コース（6時間）は **11月21日（日）**

【技能更新講習】セルフ・キャリアドック「全体報告実践」コース（6時間）は **11月28日（日）**

に開催します。お申込みは b-active ホームページ <https://www.b-active.co/lecture> 「オンライン講習」

☆最後まで読んでいただき、本当にありがとうございます。

一人ひとりの「働きがい」「生きがい」と共に / すべては対話から

b-active 株式会社 www.b-active.co

Copyright© 2021 b-active Inc.